



iPhone/Android端末向け 『おうちのおかね』BOOKアニメーションARアプリ



2011年4月15日

株式会社みずほ銀行
個人マーケティング部
データベースマーケティングチーム





内容

みずほ銀行概要

開発背景

ARについて

導入効果

今後の予定





みずほ銀行について

Channel to Discovery



＜みずほ＞がお客さまのより良い未来の創造に貢献する
フィナンシャル・パートナーになるという決意をこめたスロー
ガンです。

お客さまが、いまある夢を実現するだけでなく、その先に広
がる新しい可能性を見つけ出し、より良い未来を想像して
いく。そのために＜みずほ＞が果たす役割を表しています。

発足	2002年4月1日
株主	みずほフィナンシャルグループ
従業員	18,145人(2009年3月末時点)
業務内容	預金業務、債券業務、貸出業務、商品有価証券売買業務など





-個人部門の活動のひとつ-

結婚前後のお客さまにむけ、 ウェブサイト「おうちのおかね」を中心に 家計管理方法をご案内



みずほ銀行の“ふたりの生活”応援サイト **おうちのおかね** できることから始めて、ふたりの夢を手にしてください。



おうちのおかね

一緒に暮らし始めたふたりが直面するおかねの現実。将来のため、おかねを貯めなきゃならない、でもどうやったらいいの？
そんなふたりに、ファイナンシャルプランナー中村芳子さんがイロハを丁寧に教えてくれるのがウェブサイト「おうちのおかね」です。



ウェブサイトおうちのおかね

おうちのおかね

検索



ウェブサイト内容を簡単にまとめた
おうちのおかねBOOKを
みずほ銀行店頭で配布

おうちのおかねBOOK





課題：銀行からのアプローチが ターゲットのお客さまに受容される方法は？



銀行のパンフレットって
漢字ばかりで難しそう

銀行はお金持ちばかり
見ている、私たち一般
のひとのことは相手に
していないんじゃない？

ウェブサイトに
アクセスするのが面倒

銀行のウェブサイトなんて
味気なくてつまらなさそう



ウェブサイト「おうちのおかね」をターゲットのお客さまに見ていただきたい！
「おうちのおかね」BOOKを自宅に持って帰って読んでいただきたい！





明るい雰囲気イラストの魅力を より楽しむことができるARを導入



おうちのおかねBOOK

おうちのおかねウェブサイトとBOOKの表紙

- ① イラストレーター高橋三千男氏のオリジナルイラスト
- ② 幸せな家族を築く小鳥がモチーフ

このイラストの魅力を
さらに引き立てる

ウェブサイトへ確実に
誘引する

ARアニメーションを応用する

ARとは？

Argument Reality (拡張現実)の略。現実の環境から知覚に与えられる情報に、コンピュータが作り出した情報を重ね合わせ補足的な情報を与える技術。ARアニメーションに強みを持つコンセプト社(<http://qoncept.jp/>)の技術が導入された。

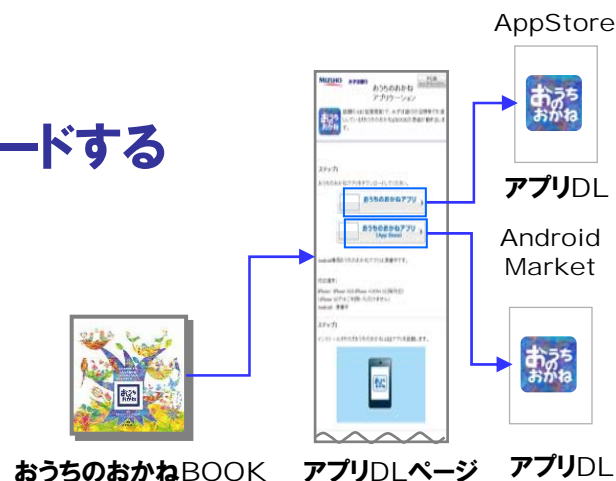




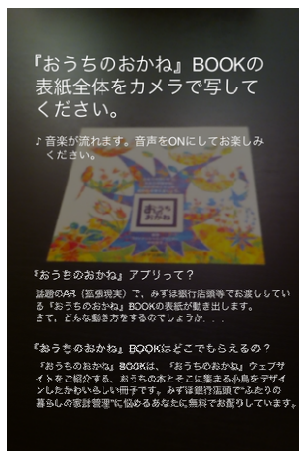
おうちのおかねARの楽しみ方

準備

- スマートフォンにおうちのおかねアプリをダウンロードする
 - アプリダウンロード方法詳細については、ウェブページに記載。ウェブページにはおうちのおかねBOOK裏表紙のQRコードからアクセスする。



使い方



おうちのおかねアプリを起動し、表紙のロゴを部分をカメラにかざす

表紙のロゴ部分が光り、小鳥のさえすりや音楽とともに、表紙のイラストが動き出す

楽しく小鳥たちが羽ばたきながら、木のイラストが完成されてゆく



導入効果

- 資料請求

- インターネットを通じた「おうちのおかね」BOOKの請求を、類似資料請求と比較して約1.7倍多く受け付けた。



おうちのおかねBOOK

- ウェブサイトへのアクセス数

- 類似案件よりも3倍程度多く、平均滞在時間やPVも大きく上回った。



ウェブサイト
おうちのおかね

ARアニメーション導入により、ウェブサイトの認知やアクセス向上だけでなく、ウェブサイトが充分閲覧されることに貢献したことが確認できた。





今後の予定

スマートフォンやARなどの技術を活用し、

✓理解できる

✓便利である

✓親しみのある

お客さまの便益に繋がる銀行商品
やサービスの情報発信を行う

